



総合学科の創造性 地域の力に
に し め
新志芽通信

No.023

令和8年1月23日
秋田県立西目高等学校

2月行事予定

日	曜日	主な行事
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	2月進研共通テスト(2年)
7	土	2月進研共通テスト(2年)
8	日	
9	月	公務員模試④(2年)
10	火	
11	水	建国記念の日
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	1・2年第4回定期考査①
18	水	1・2年第4回定期考査②
19	木	1・2年第4回定期考査③
20	金	1・2年第4回定期考査④、整容指導④
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	先輩講話
25	水	
26	木	
27	金	授賞式、卒業式予行、同窓会入会式
28	土	

《農業科学系列》

「米」に関するいろんな学び

農業科学系列では、毎年、本校敷地内にある3枚の水田（計4.8ha）を使って稲作の実習を行っています。4月17日（木）に苗床を保管するためのビニールハウスの設営、4月23日（水）に育苗箱への種まき、5月21日（水）、22日（木）の二日間で田植えを行い、その後、水の調整や除草など管理を続けてきました。今年度は、こうして育てた「米」を収穫するだけでなく、その「米」に関していろいろな学びや体験を行ってきましたので、ここで紹介したいと思います。

稲刈り 【10月9日(木)】

稲刈りは有限会社折林ファームにご協力いただきました。本校で所有している四条刈りのコンバインと折林ファームの所有する最新の六条刈りコンバインの2台を使うことで、性能や使用感の違いについて学ぶことができました。

最新の六条刈りコンバインは本校の四条刈りコンバインと比べると、一度に刈り取れる幅が広いので、同じ面積を刈り終えるまでの時間が大きく短縮された。また、貯蔵できるタンクが大きいので、頻りに籾を下ろす必要がないなど、作業の効率化に大きく繋がっていることが分かった。馬力が高いため、速度を上げてでも刈り取りから脱穀までの工程がスムーズで、作業中に止まったりする場面がほとんどなく、安定して稼働している点も印象的だった。

先進取組視察研修 【10月10日(金)】

本校で行った稲刈りの次の日、先進的な機械を活用した農業経営を学ぶため、折林ファームを訪問しました。最新の乾燥機・粳摺り機と色彩選別機を見学することができました。また、袋詰めの実習では丁寧に指導をいただきました。

袋詰めの作業ではきれいに仕上げることの大切さを学びました。縦結び・横結びに気を付けて結ぶのが大変でした。見た目の良さや衛生管理にも気を付けているのがすごいなと思いました。



収穫した米の活用

【11月13日(木)】

エームサービス株式会社が本校で収穫された米を一般の方々に提供するというので、農業科学系列の3年生13名が試食会に参加しました。調理および提供は、「プレステージ秋田BPOにかほ」の食堂で行われました。「彩り野菜の黒酢あん酢鶏」のプレートには、農場で収穫されたサツマイモ「紅はるか」と新志芽米「ひとめぼれ」が使用されました。

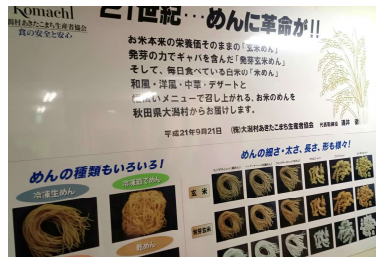
生産から加工、調理までの工程を学んだことで、食品ができるまでには多くの工程があることを実感しました。育てた作物を生産し、販売までを通し、育った野菜を使用して料理を提供させてもらうという体験をさせてもらい、食の大切さを改めて感じることができました。食事をする際にはこれからも「いただきます」「ごちそうさまでした」を言いたいと思います。



農産物加工視察研修

【12月10日(水)】

農産物の加工について最新の事例を視察するために、大湯村あきたこまち生産者協会本社と株式会社ジャパンパックスを訪問しました。1年生16名、2年生、15名、3年生13名の計44名が参加しました。



あきたこまち生産者協会本社を視察して

米以外にもパスタも生産しているのがすごいなと思いました。グルテンフリーパスタは玄米粉を使いグルテンを避けることができるのが健康にも繋がっているのいいなと思いました。米ピューレを作る時、トンネルフリーザーを使い真夏でも最大マイナス40℃で急速冷凍しているのが驚きでした。

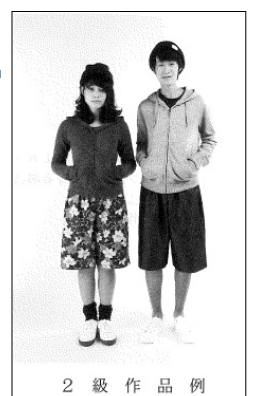
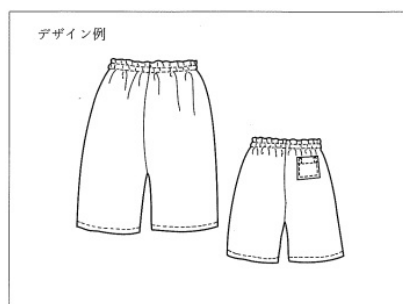
ジャパンパックスを視察して

パックスにpH調整剤を加えたり、120℃4分間で殺菌し、無菌状態にするなど、品質を保ち保存性を高める技術に関心を持ちました。私は日常的にパックスを食べていますが、こうした高い技術があるため、日常に美味しいごはんを届けるだけでなく、非常食としても美味しいごはんを届けることができていると感じました。ロボットによるパックや段ボールを積む作業は大幅な省力化に繋がっていました。

《教養文化系列》被服製作技術検定2級

【12月22日(月)】

選択科目「ファッション造形基礎」を履修している2年生8名が、被服製作技術検定の2級取得に臨みました。実技課題は「アウターパンツ」の製作で、事前に準備した生地を、ミシンを使って縫い合わせ、最後はウエストのゴムテープを通して完成させます。制限時間は70分。時間を超過すると減点になってしまうため、集中して取り組んでいました。筆記試験は「立体構成と製作の基礎知識」について30分で行いました。実技試験と筆記試験の合計点数で合否が決まります。受験した8名は、全員合格することができました。



アウターパンツを70分で製作しなさい。

- 1 ポケットつけ
・ポケットの形は、ベース形とする。
- 2 わき縫い
- 3 また下縫い
- 4 また上縫い
- 5 ウエストのしまつ
- 6 すそのしまつ